

CASBEE 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都四条ホテル新築計画	階数	地上5F
建設地	京都市中京区西河原通橋本町下る古町町42番地(小幡通地小路東入道)498番	構造	RC造
用途地域	商業地域・準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月	評価の実施日	2018年5月25日
敷地面積	1,178.68 m ²	作成者	瀧田 暁
建築面積	762.60 m ²	確認者	
延床面積	3,529.52 m ²		



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 74% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記②以外の 74% (46 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 74% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.5

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 京都の伝統的要素を取り入れた宿泊特化型ホテル ・ 前面道路に面した客室数の最大化 ・ 客室に柱型梁型のない壁式構造 ・ 利用客全員が感じることが出来る枯山水を模した中庭	その他 ・ 特になし	
Q1 室内環境 ・ 客室開口部遮音性能T-2以上を確保 ・ 客室における高い外皮性能の確保 ・ 格子+障子によるグレアの制御 ・ 複数照明の設置とタブレットによる細かな制御性	Q2 サービス性能 ・ 高度情報通信設備対応 ・ 客室天井高さ2.4m ・ 自然素材を採用した内装照明計画 ・ 維持管理に配慮した内外仕上げ材の採用・建築計画	Q3 室外環境(敷地内) ・ 外構緑化による緑量の確保 ・ 枯山水を模した中庭による歴史的建築空間の保全 ・ 雨宿りスペースの提供による地域貢献
LR1 エネルギー ・ BPI=0.89 ・ BEI=0.69	LR2 資源・マテリアル ・ 省水型機器の採用 ・ 内装材にリサイクル材の採用 ・ RC躯体と乾式仕上により分別しやすい内装計画 ・ 科学物質排出把握管理促進法対象物質を含有しない建材種別4以上	LR3 敷地外環境 ・ CO2排出量の低減 ・ 自転車置き場、管理用車両用駐車施設の整備 ・ 光害ガイドライン、広告物照明の配慮への対応

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される